

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	横浜創英大学
設置者名	学校法人 堀井学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://horii1940.ac.jp/files/E4BBA4E5928C5E5B9B4E5BAA6E8B2B8E5809FE5AFBEE785A7E.pdf
収支計算書又は 損益計算書	https://horii1940.ac.jp/files/E4BBA4E5928C5E5B9B4E5BAA6E4BA8BE6A5ADE6B4BBE58B95E.pdf
財産目録	https://horii1940.ac.jp/files/E4BBA4E5928C5E5B9B4E5BAA6E8B2A1E794A3E79BAEE98CB2E.pdf
事業報告書	https://horii1940.ac.jp/files/2023(E4BBA4E5928C5)E5B9B4E5BAA6E4BA8BE6A5ADE5A0B1E.pdf
監事による監査 報告(書)	https://horii1940.ac.jp/files/E4BBA4E5928C5E5B9B4E5BAA6E79BA3E69FBBE5A0B1E5918AE.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.soei.ac.jp/guide/outline/accreditation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.soei.ac.jp/guide/outline/accreditation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.soiei.ac.jp/dept_nurs/vision/)
(概要) 目的 人の尊厳を守り、豊かな人間性と倫理観を備え、かつ、科学的思考に基づく判断力と創造力のある看護専門職者として、人々の健康課題を探究し主体的な看護実践ができる人材を育成する。 目標 1)個人を尊重し看護の対象を全人的に理解する能力を有する。 2)科学的根拠と倫理観に基づいた看護を実践する能力を有する。 3)人々と連携・協働する高いコミュニケーション能力を有する。 4)看護を探究し創造できる基礎的な能力を有する。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.soiei.ac.jp/dept_nurs/vision/)
(概要) ○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ○看護の専門的知識・技術・倫理的態度に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.soiei.ac.jp/dept_nurs/vision/)
(概要) ○ヒューマンケアに必要な豊かな人間性を育み、柔軟で論理的な思考を養うため、教養教育分野の科目を配置する。 ○看護実践の場で活躍できる人材を育成するため、専門科目を多面的に学べるよう取り組む。 ○看護の専門知識・技術を修得しやすいよう、講義、演習、実習を体系的に配置する。 ○知識とスキルを統合し健康課題を解決する看護実践能力を養うため、臨地実習を効果的に配置する。 ○地域社会における保健医療福祉の課題に、他者と協働しながら取り組み続ける能力を獲得するため、アクティブ・ラーニングを重視した授業科目を配置する。 ○研究や討論を実践的に積み上げるために、少人数の授業科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.soiei.ac.jp/dept_nurs/vision/)
(概要) ○看護に関心があり、看護専門職として社会に貢献したいと考えている人。 ○人と関わるのが好きで、他者の気持ちを重んじる態度を備えた人。 ○基礎となる、表現力、読解力、数理的能力を有し、自己の課題に積極的に取り組む人

学部等名 こども教育学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.soiei.ac.jp/dept_education/vision/ ）
<p>（概要）</p> <p>こども教育学部では、保育・教育施設や地域社会において、保育・幼児教育の専門家として確かな貢献のできる人材養成を教育目的としている。そのため、高度な専門的知識・技能やコミュニケーション能力、情報活用能力、社会の一員として諸課題に向き合い協働して学び続ける能力、自らの個性を生かし新たな課題を見だし解決していく能力の獲得を目標として教育を行う。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.soiei.ac.jp/dept_education/vision/ ）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・幼児教育に関わる高度な専門的知識・技能と豊かな人間性と感性を身に付け、それらを、現代社会の状況とも関連づけて理解し、活用できる能力を有する人。 ・対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。 ・社会の一員としての責任を持ち、他と協働して保育・幼児教育をめぐる諸課題に向き合い、率先して学び続けることのできる能力を有する人。 ・専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見だし、解決していく能力を有する人。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.soiei.ac.jp/dept_education/vision/ ）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識・技能や豊かな人間性や感性を育み、保育実践の場で役立てる能力を獲得するために、講義、演習、実習などの専門科目を体系的に配置する。 ・広範で多様な知識・技能を獲得し、筋道を立てて考える論理性及び相手の心を思いやる人間性を養うために、教養教育科目を配置する。 ・保育・幼児教育や社会の諸課題に、他と協働しながら率先して取り組み続ける能力を獲得するために、主体性やチームワークを重視した授業科目を配置する。 ・新たな課題に総合的、創造的に取り組む能力を身に付けるために、各自の興味・関心に応じて積極的に専門性を追究できる体系的な選択履修プログラムを導入する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.soiei.ac.jp/dept_education/vision/ ）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動に関心をもって探究し、保育・幼児教育の分野に貢献しようとする人。 ・多様な知識・技能を活用し、課題を見つけ、解決しようとする人。 ・卒業後も主体的に学び続け、他と協働し、率先して社会に役立とうとする人。 ・自分の良さを生かした専門性を身に付け、獲得した能力を統合して新たな課題に挑戦しようとする人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.soiei.ac.jp/guide/info/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学部	—	6人	4人	10人	9人	3人	32人
こども教育学部	—	4人	6人	3人	3人	0人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		50人					50人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.soiei.ac.jp/dept_nurs/faculty_nurs/ https://www.soiei.ac.jp/dept_education/faculty_education/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	80人	74人	92.5%	320人	339人	105.9%	-人	-人
こども教育学部	80人	42人	52.5%	320人	227人	70.9%	-人	-人
合計	160人	116人	72.5%	640人	566人	88.4%	-人	-人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	80人 (100%)	0人 (0%)	70人 (87.5%)	10人 (12.5%)
こども教育学部	38人 (100%)	0人 (0%)	31人 (81.6%)	7人 (18.4%)
合計	118人 (100%)	0人 (0%)	101人 (85.6%)	17人 (14.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>学部ごとの授業科目、授業の方法及び年間の授業スケジュールや休業日や試験期間を履修の手引きで示している。授業の内容はシラバスで示している。授業スケジュールでは臨地実習及び教育実習等の病院や施設、学校等で行われる実習の期間を示し、その他実習ごとにスケジュールを発表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修の評価に当たってはシラバスに評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応として明記している。評価の方法には一部ルーブリック評価を導入し、わかりやすい評価を目指している。</p> <p>卒業後、看護師、保健師、養護教諭、幼稚園教諭、保育士などの職業に就く学生に、多くの授業はアクティブラーニングを採用し、知識を得るだけでなく能動的に学修するように計画をしている。</p> <p>卒業認定に関しては、両学部とも卒業に必要な単位数を取得することが必要であり、教授会で審議した後、学長が認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	126 単位	○有・無	48 単位
こども教育学部	幼児教育学科	124 単位	○有・無	48 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.soiei.ac.jp/guide/facilities/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	1,020,000 円	300,000 円	548,000 円	
こども教育学部	幼児教育学科	700,000 円	300,000 円	448,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生支援課で学生生活全般に関する相談や助言を行っている。各種証明書の発行のほか、奨学金の相談、事故やケガが起きたときの対処、紛失物の確認などを行っている
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援室で学生が自らの「キャリア」を主体的・自律的に選択・決定していくための支援を行っている。就職・進学についての個別面談をはじめ各種情報の提供、進路ガイダンスや就職対策講座の開催などを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健管理センターで、学校保健安全法に基づく健康診断、健康に関する相談、応急処置など保健管理業務を行っている。保健室には看護師が常駐している。また、学生相談室では、臨床心理士資格を有するカウンセラーが学生の悩み・相談に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.soiei.ac.jp/outline/journal/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。